

第39回調布市環境フェアを実施しました

6月4日、市役所前庭を会場に、第39回調布市環境フェアを開催しました。調布市環境フェアは毎年6月の環境月間にあわせて開催し、市民の方に環境を見つめ直し考える機会を持って頂くため、様々な展示や体験ブースを設けています。

今年のテーマは昨年同様「あなたから始まる、地球の未来」。市内外から総勢25の市民団体や企業、行政機関などが参加しました。

初夏の汗ばむ気候の中、たくさんの来場者が、体験コーナーでのリサイクル工作に取り組んだり、出展ブースの展示を熱心に読む様子が見られました。また、今年度は、節電を啓発するブースもあり、夏の節電方法について学んでいく姿も見られました。



「たばこのめいわく」ポスター&標語を募集します

歩きタバコやポイ捨てで困っている気持ちを標語やポスターで表現してみませんか。喫煙者にマナーの向上を呼びかけましょう。

なお、応募者全員には参加賞を、さらに入賞者には記念品を贈呈します。

【ポスターの部】

画材や標語は自由です。A3サイズまでの大きさで、ご応募ください

対象／市内在住・在勤・在学の方
(1人で複数作品の応募可)

【標語の部】

形式は自由です。短文にまとめてご応募ください。

対象／市内在住・在勤・在学の方
(1人で複数作品の応募可)

各部ともに申込み／

作品に住所、氏名(匿名希望の場合はペンネームも)、学校名・学年を明記し、9月1日(木)まで(必着)に、〒182-8511 市役所環境政策課(市役所8階)へ郵送または持参

調布市いきものフォトコンテスト2011 ～感じよう!生物多様性～ 作品募集

【募集作品】

○多摩川部門

調布市内の多摩川に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)

○市内部門

調布市内の多摩川以外に生息する野生生物を主体とした写真(植物、鳥、昆虫、魚など)

○応募条件

各部門とも、平成23年1月以降に、応募者本人によって撮影された写真で、未発表のもの(1人2点まで)

○募集期間

11月30日(水)(必着)まで

【規格】

・A4サイズまたは6切サイズ。カラー、モノクロいずれも可

※電子データ(2MBまで)をご持参いただければ多摩川自然情報館で土・日、祝日に印刷可能です。

その他、応募方法・応募先など詳細は、市のホームページまたは、環境政策課、多摩川自然情報館で配布している募集要項(応募票つき)でご確認ください。

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

●発行：調布市環境部環境政策課

●連絡先：電話：042-481-7086(直通) F A X：042-481-7550

メールアドレス：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ左下からリンクしています)。

2011年8月
第9号

刊行物登録番号
2011-95

引きつづき「節電」にご協力を

ご存知のとおり、震災の影響により、皆さんの節電行動が重要となっています。もうすでに実施している方も、まだ実施していない方も、改めてご自分の電気の使い方を見直してみませんか。

家庭の節電のポイント

暑い日はエアコンによる消費電力が大半を占めています。これに、冷蔵庫、テレビなどと続きます。

こうしたことから、冷房の温度設定28度や、冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」にするなどの対策が、節電に有効なものとなりますが、さらに次のようなことを意識して節電を実施しましょう。

💡消費電力の大きなものを知ろう

家庭にある電気製品のうち、こういったものが、消費電力が大きいことを知り、節電の参考にしてください。

例) 温水洗浄便座、電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブントースター、掃除機、ドライヤー、洗濯乾燥機(乾燥機能)、ジャー炊飯器、電子レンジ、アイロン、IHクッキングヒーター・・・など



💡節電のための3つのポイント

消費電力を減らす

家電製品を省エネモードに変更

電力使用時間をずらす

電気使用が多い時間帯を避ける

切り替える

省エネ製品への買い換えを検討する

環境学習公開講座を実施

7月8日、文化会館たづくりで、東京都地球温暖化防止活動推進センターの講師による環境学習公開講座「家庭の節電講座」を実施しました。

当日は、今夏の節電に対する関心の高さから、多くのご参加をいただき、熱心に講義を聴く姿がうかがえました。

また、質疑応答の時間では、講師への質問が活発に行われ、節電への意識の高さもうかがえました。



公開講座の様子

環境モニター活動

今年度の環境モニターでは、多摩川の植物図鑑を制作することを目的に、多摩川を中心とした観察活動を行う予定となっています。

第1回 調布の多摩川の自然（講義）

今年度最初の活動は、6月1日に染地地域福祉センターで、調布や多摩川の自然に関する講義を実施しました。

あいにくの雨により、予定していた講義後の現地観察会は実施できませんでしたが、長く調布に住まれている講師から、昔の調布の自然の思い出話なども交え、多摩川の成り立ちや、調布の地形の特徴などについての解説が行われました。



6月 講義の様子

第2回 多摩川の植物観察

第2回目の活動は、7月2日に多摩川市民広場近くの多摩川河川敷で、植物観察を実施しました。観察では講師による植物種の見分け方とともに、外来・在来種が交雑することで、種の判別が難しい植物があることなどの解説が行われました。

また、植物観察と平行して、デジタルカメラ持参の参加者は、植物図鑑の図版として利用できるよう、たくさんの写真を撮影しました。



7月 観察の様子

調布こどもエコクラブの活動

市では、市内の小中学生を対象に毎年4月に調布こどもエコクラブの会員を募集しています。今年度は32人の子どもたちが会員となり、活動をスタートしました。

第1回 水辺ガサガサ

調布こどもエコクラブの今年度最初の活動は、6月25日に、市立第七中学校近くの野川で「水辺ガサガサ（水辺の生きもの観察）」を実施しました。

小学1～5年生の会員や保護者ら26人とサポーター7人で、野川のフナやドジョウ、ヤゴなどを捕まえてみんなで観察しました。



第1回「水辺ガサガサ」



第2回体験ツアー「水辺の生きもの観察」



第2回体験ツアー「源流体験」

第2回 多摩川源流体験ツアー

8月1日～2日には、山梨県小菅村において小学4年生以上を対象にした「多摩川源流体験ツアー」を、1泊2日で実施しました。

1日目にはきれいな水辺での生きもの観察や、夜間のムササビ観察、光に集まる虫の観察などを、2日目にはメインイベントの「源流体験（沢のぼり）」を行いました。

清流だけで見られる生きものや、暗闇で目が光るムササビを観察したり、冷たい清流に飛び込んだりと、子どもたちは多摩川源流の自然を満喫していました。

調布水辺の楽校の活動

5月15日多摩川河川敷で、多摩川流域7小学校の児童と保護者57人が参加し、平成23年度の水辺の楽校の開会式が、教員・地域の環境学習ボランティアの運営により行われました。

開会式後は、多摩川にどのような生き物がいるか観察をする「水辺のガサガサ」を行い、アユやメダカ、ヌマエビをはじめ、たくさんの生きものを確認しました。



当日の様子

平成23年度雑木林塾開塾

市では、昭和30年ごろまで生活と農業に深くかかわってきた里山の雑木林の現状を知り、市内に残る樹林の維持管理に役立つ知識と技能を身につけることを目的に毎年、雑木林塾を実施しています。今年度は、5月に塾生を募集し17人の会員でスタートしました。

なお、この雑木林塾は、ちょうふ環境市民会議のメンバーが企画・運営しています。

第1回 ガイダンス・雑木林の歴史と現状

平成23年度雑木林塾（全6回）が5月22日に開塾しました。

午前中は開塾式に続き、調布の雑木林の歴史と現状をテーマに雑木林の特徴や成り立ちなどを学びました。昼食をはさんで午後には、実際に野外での観察活動ということで、佐須地域から深大寺自然広場（通称カニ山）、さらには深大寺元町にある都市森の丘の見学を行いました。



第1回活動の様子

第2回 雑木林の生態系と現状について

第2回目講座は、6月26日に開催され、雑木林の生態系について学習しました。

午前中は、佐須ふれあいの家で、雑木林の生態についての座学による講座で、写真とともに生きものの種類や特徴、雑木林の管理と生態系への影響などについて学習しました。

午後は、カニ山（深大寺自然広場）の植物や昆虫などの観察を行いました。



第2回活動の様子

多摩川自然情報館で夏休みイベントを開催しました

昨年オープンした多摩川自然情報館で、夏休みイベントを7月23日に開催しました。

当日は、ふれあい移動水族館や、いきものプールの生物観察、ザリガニつり、多摩川ものしりクイズ、グリーンカーテンで収穫したゴーヤのプレゼント（先着順）、カブトムシのプレゼント（抽選）などを行い、たくさんのお子様たちでにぎわい1,453人の方に来館いただきました。



△
夏休みイベントの様子